

2026年1月号

カトリック二俣川教会
教会だより

No.389

(2025年12月28日発行)



二十六聖人

《今月の聖人》 神の母聖マリア



巻頭言：新しい年をどう過ごすか

早いものでこの1年が過ぎ、新しい年を迎えるとしています。私も新しい年をまた皆様と一緒に歩みながら、引き続き聖務に励んでいきたいと願っています。

さて、私たちは毎年クリスマスが終わればこの正月を迎えて新年のお祝いなどをすることになっています。年末年始、多くの人はキリスト教のクリスマスを祝い、仏教の寺(除夜の鐘)にも神道の神社(初詣)にも行きます。この現象には、日本人が古来信仰してきた宗教「神道」が関係しているそうです。神道には山や植物、海や川、食べ物など、自然から身近な物まであらゆるものに八百万(やおよろず)の神が宿るという考えがあります。

どんな神様でも敬うべきと考えた日本人は、後からやってきた仏教やキリスト教も受け入れました。「あらゆるものが神様」という考えなので、神様が増える分には問題なかったようです。また、さまざまな神様をフラットに信仰しているので、多くの日本人は特定の宗派に属さないスタンスで、無宗教と答える人もいます。宗教に寛容な日本人の気質が、「クリスマス⇒除夜の鐘⇒初詣」と3つの宗教が共存する、興味深い年末年始の風景を生み出していました。

クリスマスは一般的にはその日で終わりますが、キリスト教的な意味でのクリスマスは、12月24日のご降誕前夜祭から始まり、1月4日の主の公現までを指します。正月とクリスマスが混在てしまっていると、どれを大切にするのが良いのかと思う人も多いでしょう。

このことは、特定の宗教を持たない人には別に問題はないのかなと思いますが、やはりキリスト教を信じている私たちにとってはこの教会の典礼暦(降誕節)をちゃんと理解して過ごすことを大事にしたいと思います。

そのような中で、1月1日は「神の母聖マリア」の祭日をお祝いします。新しい年を迎えたこの日、降誕8日目にあたる1月1日に教会はローマの古い伝統に従い、“神の母マリア”的祭日を祝います。マリアを「神の母」と宣言したのは、431年のエフェソ公会議でした。年のはじめをマリアの記念日として祝い、祈るのは古いローマ教会の伝統です。また、この日が大事にされるようになったのは、12月25日から数えてちょうど8日目にあたるからです。8日目にあたるこの日、誕生した神の子は「イエス」と命名されることにより、正式に神の民の歴史、人類の歴史の一員になります。そして、マリアには、救い主としてのイエスの使命に、自分も深く一致するという母の姿があります。マリアは、羊飼いたちにイエスを示し、彼らを喜びでみたしましたが、私たちに恵みそのものであるイエスを示し、与え続けられます。

そして、この日は「世界平和の日」であり、教皇はメッセージを発表しています。

「世界平和の日」として特別に平和のために祈るよう、1968年教皇パウロ6世により定められました。この年はベトナム戦争が激化しているときでした。「世界平和の日」を定めた教皇パウロ6世の心を受け継ぎ、教会は現在も、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのな

い平和な世界が来るよう、特別な祈りをささげるように私たちに呼びかけています。

今も世界の現実に目を向けるなら、平和を脅かしている人々は数多くいます。新年にあたって、教会は平和を祈り、平和な世界を希求し続ける決意を新たにして、降誕したキリスト「平和の君」に、聖母をとおしてこの上ない平和を祈り求めます。

新しい年をはじめるにあたり、この1年間を平和の女王である神の母聖マリアの取り次ぎを願いながら、世界の人々と心をひとつにして、たまものである平和を祈り求めたいと思います。

マキシミリアノ・マリア・コルベ 内藤 聰



《 今月の意向 》 ■ 1月

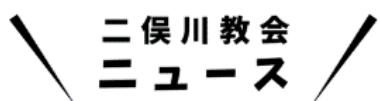
教皇の意向：みことばによる祈り

みことばによる祈りが生活の糧となり、また私たちの共同体の希望の源となって、互いを大切にしながら使命に生きる教会を築くことができますように。

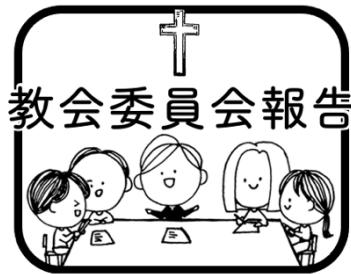
日本の教会の意向：平和と幸せ

新しい年の始めにあたり聖母の取り次ぎを願って祈ります。私たち一人ひとりが互いを思いやって平和と幸せを求め、心穏やかに過ごすことができますように。

(カトリック中央協議会ウェブサイトより)



- 11月23日に予定されていた福祉委員会主催の東日本大震災の講演会は登壇者の都合で中止となりました。延期ということですので、またの機会を待ちましょう。
- 2025年の通常聖年が终わります。12月28日(日)11:30から梅村司教様の司式での閉幕式ミサをもって、聖年の扉が閉じられることになります。
- 年末年始の事務所についてお伝えします。
12月30日(火)から2026年1月3日(土)まで事務所はお休みになります。
- マリア会総会を1月25日(日)10時ミサ後に行います。女性信徒の皆さんには、是非お集まりください。



2025年12月（12月14日開催）

【検討事項】

1. 成人の祝いと教会新年会について

2026年1月11日10時ミサで成人式を行います。ミサ後、二十歳のお祝いを兼ねて新年会を予定しています。

2. 使わない毛布の献品

皆さまのご家庭にある不要な毛布を集めることにしました。鈴木真神父様にお渡しして木曜パトロールに役立てていただきます。教会事務所で受け付けます。

3. 設備・備品予算

消火器など防災設備の更新、老朽化したラミネーターの買換え、前庭にある桜のひこばえを手入れするための費用などについて審議しました。

【報告事項】

1. 12月7日クリスマスバザー報告

バザーからの献金は、献金箱への直接献金を含めて総額222,204円でした。この献金と10月バザーの献金104,152円はすべて年末福祉献金に充当されます。

2. 新しい聖歌集プロジェクト経過報告

2024年春のプロジェクトメンバー公募から始まった本プロジェクト。時間をかけて新しい聖歌集の形状、選曲、予算の検討を進めてきました。選んだ聖歌をイチから統一された楽譜へと作り直して作成するための準備段階に入ってきました。楽しみにお待ちください。

【フリーディスカッション】

11月に引き続き、次回通常聖年の2050年までに二俣川教会がどう変わっていくか、その変化にどのように備えるかを話し合いました。今回は、将来的に外国籍信徒の比率が高まるだろうという予測があるなかで、日本人と外国籍の信徒が一つの信仰共同体となるためにどうするかを話題にしました。

【各会報告】

1. 典礼委員会

- ・12/28をもって聖年の祈りを終了します。
- ・1/6(火)より週日のミサを再開します。
- ・1/21(水)より枝の回収を始める予定です。
詳しくは今週のお知らせをご覧ください
- ・週日ミサの時間変更を検討しています。
影響が大きいので慎重に進めます。

2. 教会学校

- ・12/21の10時ミサで聖劇を行います。
- ・12/21に二学期終業、1/18に三学期始業となります。
- ・初聖体クラスの申込受付を開始しました。
1/18(日)から勉強を始めます。子供たちのためにお祈りください。
- ・10/26のバザーで子どもたちが作ったミニカップランタンが聖堂のクリスマスツリーに飾っています。是非ご覧ください。

3. キリスト教講座

入門講座を6名が受講中です。11/30、12/13に5名が入門式を終了しました。

4. 財務委員会

アマゾンなどネット通販での買い物を精算するときは、パソコンで領収証の PDF をダウンロードして教会事務所に送ってください。可能な限り構いません。なお、領収証ではなく適格請求書で代用することも可能です。

5. 福祉委員会

11/23 に予定されていた、カリタス南三陸の C. M. 氏による活動報告会は、講師都合で延期となりました。2026 年に実施する予定です。

6. 建物管理委員会

11/10~14 に祭壇上方照明の更新工事を行いました。

7. 共同墓地委員会

- ・11月活動実績 11/3 上大岡共同墓地追悼ミサと納骨(約 90 名参加)、11/30 第 3 回共同墓地委員会会議、生前予約者受付済 3 名。
- ・12月活動予定 一家族共同墓地利用についての相談受付中 (生前予約)

8. ヨゼフ会

- ・11/9 コーヒー光実施。定例会 11/16 実施、12/21(第一集会室)予定。
- ・12/28(日)10 時ミサ後に二階で忘年会 (一般参加者会費 1,000 円程度)

9. マリア会

- ・来年 1/25(日)10 時ミサ後にマリア会総会を予定しています。
- ・運営委員会 11/6、12/4 実施
- ・マリア会例会
11/16 「カレーの日」(26 食提供)
次回奇数月第三日曜日(来年 1/18)はマリア会総会一週間前のため開催しません。
- ・マリア会・パーティー係

12/13 会議、来年 1/10 パーティー前準備、1/11 パーティー当日

- ・ステラマリス帽子を編む会
11/14、11/21(クリスマスラッピング)、
11/27 実施
12/19、来年 1/16,22 活動予定
- ・アンナ会
11/10,12/1 活動、12/7 クリスマスバザーに出店、来年 1/26 活動予定
- ・ボリビア支援グループ
11/9 実施、来年 1/16 活動予定
のんびり日曜日 12/14、来年 1/18 予定

10. 青年会

- ・12/7 クリスマスバザーでホットココアや J さん作のポストカードを販売しました。皆さまのおかげでホットワインを完売するなど沢山売ることができました。
- ・12/21 の 10 時ミサ後すぐにインターファミリーと合同で「みんなで歌おうクリスマス」を行います。今回はソロ曲も披露される予定です。
- ・来年 1/11 に青年ミサと二十歳のお祝いを行います。参加者を確認中です。

11. インターファミリー

青年会と協力して、12/21 に「みんなで歌おうクリスマス」を実施します。

12. 一粒会

11/24 のザビエル祭参加バスは 21 名が乗車しました(内保土ヶ谷が 4 名)。

13. 地区世話人会 (地区担当副委員長報告)

地区会の方向性、課題について検討するプロジェクトが発足しました。教会委員会から H 副委員長が参加します。

以上

聖年の徒步巡礼に参加して

神奈川第3地区「信仰を伝える力を育てる部門」が企画し、100名あまりが参加した聖年巡礼指定教会である山手教会への徒步巡礼。参加したご夫婦に寄稿していただきました。

* * * * *

11月22日(土)、第3地区の7教会(山手、磯子、末吉町、港南、戸部、保土ヶ谷、二俣川)合同の徒步巡礼に夫婦で参加してきました。戸部教会には、地元の方のほかに、第三地区的各教会から、少なくとも数人ずつはいらっしゃったようです。

戸部教会の祭壇

口ザリオ一連と一緒に唱えて、巡礼指定教会である山手教会を目指して出発しました。フィリピンのグループ、お子さん連れ、ご高齢の方など、それぞれのペースで歩きました。お天気にも恵まれ、暑すぎず寒すぎない心地よい秋のお昼前、横浜みなとみらいの観光地のど真ん中を突っ切ってお散歩する感じになりました。ただ山手教会まで一緒に歩くだけと思っていたら、いきなりこちらに出ました。

横浜天主堂跡

1862年、こちらに近代日本最初の教会堂が建てられ、山手教会の前身となったとのこと。100周年記念碑のようです。私たちは横浜に住んで30年ほどになりますが、「横浜天主堂跡」は初めて拝見しました。もしかしてハマっ子信者の方は皆さんご存じなのでしょうか。元町・中華街駅のすぐ傍です。ぜひ行ってみてください。山手教会のミサには他に末吉町教会から出発した方々も含め、総勢100人ほどの方がいらっしゃったと思います。ナン神父様の叙階式で一緒した港南教会の方ともお会いできました。(ミサの後でゆるしの秘跡を受けていたため、集合写真には入れず。)

山手教会前

山手教会には結婚式や他の機会に訪問したことはありましたが、聖年になって訪問できないままでしたので、聖年のうちに希望の巡礼者として7つの教会から集まって一緒にミサにあずかり、祈り、歌うことができてよかったです。企画して下さった方ありがとうございました。

イシドロ農夫・K. T. 幼きイエズスのテレジア・K. M.



戸部教会の祭壇



横浜天主堂跡



山手教会前で

ザビエル祭訪問記

2025年11月24日(月・祝)に日本カトリック神学院で開催された「2025ザビエル祭～希望に満ちあふれて～」に行ってきました。

二俣川教会からはマイクロバスをチャーターしての参加です。バスでの参加者は二俣川教会から17名、保土ヶ谷教会から4名の21名です。公共交通機関を利用しての参加者とは神学院で合流しました。往路は急遽、同乗して下さったナン神父様の朝の祈りで心が一致。その後はワイワイガヤガヤと短くも楽しいバスの一時でした。

10時からのミサを司式されたフランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教(駐日ローマ教皇大使)は、説教で聖書に深く親しむように努めて下さい。神の言葉は、魂を養う靈的な糧だからです。誠実であること、祈りの中で神の声を聴き、導かれる学んでくださいとのお話でした。

神学院名物の銀杏を買い、イエスのカリタス修道女会の聖歌隊に心を癒され、自然豊かな神学院内をのんびり散策。谷脇誠一郎神父様の講話は自身の召命と長崎での司牧活動を美しい風景や教会写真と当時の逸話を交えながらのお話でした。

私は想像の世界に招かれ、とても豊かな時間を過ごすことが出来ました。

ザビエル祭のプログラムは多岐にわたり用意されています。子供プログラム・神学院内ツアー・物販・サインラリー(ご褒美つき)・映画上映・各種展示物等々です。

子供たちの遠足を兼ねて参加している教会もありました。来年機会があれば二俣川の子供達と一緒に参加したいなと思います。2025年ザビエル祭を準備してくださった神学生の皆様に感謝致します。

マチアス K. A.



2025 年のバザーを振り返って

2025 年のバザー開催については、企画から実施まで時間の余裕がない中での準備となつたので、効率的に物事を進める必要がありました。今回は、10月 26 日と 12 月 7 日の二回開催となりましたので、特にテーマ設定が重要となりました。この中で、今年は 25 年に一度巡ってくる『特別聖年』の年なので、バザー開催テーマをバチカンの公式マスコット『ルーチエ』を前面に出して、『ルーチエ希望と光のバザー』とし統一感をだしました。

内容的には、信徒さんから提供いただいた献品衣料品と装飾品・雑貨、身の回り品等を 2 階の集会室にて販売を行う事。また、会場の混雑を避けるために、事前に作成した入場券をミサ後に配布を行うことで、整然と行う予定でした。また、物品を購入した信徒さんへのサービス提供の目的と日頃の意思疎通を図ることを考え、飲食機能を充実するというものです。

1. 統一感は出せたか？

テーマ設定は良かったと感じる【ルーチエは大変インパクトが強かった】

2. 献品について

多くの献品が提供された。しかし、提供者が値付けを行い、タグをつけて持ち込むことをさらに理解を促進する必要がある。バザーボランティアの頑張りに頼った。

3. 飲食提供について

人が集う場所には飲食などの機能は必要だと思う。しかし、厨房の取り扱いなど調整は早めの対応が求められる。また、天候に左右されるので扱いは難しい。10月開催は悪天候に見舞われた。12月開催は天候には恵まれたが、事前調整『出店企画と準備』は煩雑。スペースには限りがあり、全ての事を充足するために規模や内容を考えて、事前の調整が不可欠。

4. 聖堂イベントについて

今年はナン神父様の叙階があったので、靈的な企画は大いに盛り上がりを見せていた。また、子供たちの信仰教育に取り組むことは大変重要なことと認識しているので、地道な楽しみと触れ合いは、芽吹いてきた種を将来に向かって育むことは大事。バザーの時などには楽しみながら大人達と触れ合うことを重要なことと認識した。

以上結果と分析です。

バザーを通して気付かされたこと。

1. 教会は一つの共同体

教会は多くの国と、様々な国籍を持つ人々で構成されている。夫々の生活環境は様々で、生きてきた状況も違う。そのような中で、一つの目的に向かって歩むことはお互いの理解が深く進んでいかなければならない。また、進む努力を継続して推し進めていくことが必要。難しいことだが、バザーはその手段となりうる。

2. 考えの後押し

今回実現はしなかったが、アフリカ系信徒の飲食店出店計画があった。実現出来なかつたのは準備時間が制約されていたこと。信徒家族(お子様たち)に手がかかることなどが漏れ伝わってくる。色々なことがあるのだろうが、まだこれからという感じが強い。折角芽吹いたことで後押ししたい感はある。フィリピン系信徒は、その意味で充実しているのかも?考えて取り組んでいてくれる。その視点から浮かぶのは、『絆』だ。強い絆を持っている。コミュニティーもしっかりしているように感じられる。教会に属している以上、今後、お互いに意思疎通を強化していくことが大事だ。

3. 人的支援の強化

今回、神父様、教会委員長を始め教会委員会の方々には筆舌に尽くせないほどの支援をいただいた。また、信徒会、インターファミリーの窓口担当者や青年会の面々。さらに地域グループの方々。外部団体はバザーに色を添えてくれた。感謝している。どれ一つかけても鮮やかには見えない。そのくらい重要なピースで構成されていた。

追記 バザーに限らないが、今回は沢山の方に支えられて全うすることができた。思うようにはいかなかったり、不満をもつことも多々あったろうが、混乱の中での任務であった。どうかご容赦願いたい。乱文お許しください。

バザー実行委員会 使徒ヨハネ N. A.



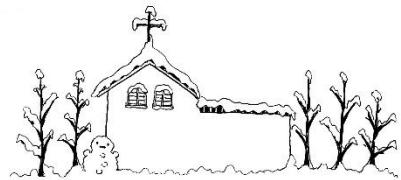
きょうかいがっこうだより

カトリック二俣川教会 教会学校

2026年1月

【1月の予定】

- ・1月11日 侍者会
- ・1月18日 教会学校 初聖体クラス スタート
- ・1月25日 初聖体クラス



【初聖体クラス スタート】

6月7日の初聖体に向けて1月18日から初聖体クラスが始まります。対象の児童のいるご家庭には案内が届いていると思います。まだ申し込みをされていらっしゃらないご家庭は年内にお知らせください。

よい初聖体の準備ができるよう皆様のお祈りをお願いいたします。また、この機会に、ご聖体をいただくおめぐみについてご家庭でもう一度お話ししていただく機会になるといいのではと思います。



【聖劇の練習がんばっています！】

コロナなどで一時中断していた教会学校の聖劇もここ数年形式をかえて再開しています。今年は、マリア、ヨセフ、ガブリエル、天使、羊飼い、羊、博士の配役を決め、練習がスタートしました。かぜも流行もあってか、配役を決めたものの、まだメンバー全員がそろって練習できません。21日本番当日の練習でみんなそろうでしょうか。教会学校リーダーはハラハラドキドキしています。



博士役はみんな代役です。
当日来てくれる
ことを祈るばかり…です。



フィナーレは教会のみなさんと「しづけき」を歌います。ぜひみなさん歌声で応援よろしくお願ひします。

番外編
2026

Nativity Calendar *

THURSDAY

- 1** 神の母聖マリア(祭)
世界平和の日

† 羊飼いたちは、マリアとヨセフと乳飲み子を探し当てた。
8日たって幼子はイエスと名付けられた（ルカ2・16-21）

FRIDAY

- 2** † その人はわたしの後から来られる方（ヨハネ1・19-28）

SATURDAY

- 3** † 見よ、神の子羊だ（ヨハネ1・29-34）

SUNDAY

- 4** 主の公現(祭)

† わたしたちは東方から王を拝みに来た（マタイ2・1-12）

MONDAY

- 5** † 天の国は近づいた（マタイ4・12-17、23-25）

TUESDAY

- 6** † パンを増やすことによってイエスは自分が預言者であることを示される（マルコ6・34-44）

WEDNESDAY

- 7** † 弟子たちは、イエスが湖上を歩いておられるのを見た（マルコ6・45-52）

THURSDAY

- 8** † この聖書の言葉は今日実現した（ルカ4・14-22a）

FRIDAY

- 9** † たちまち重い皮膚病は去った（ルカ5・12-16）

SATURDAY

- 10** † 花婿の介添え人は、花婿の声が聞こえると大いに喜ぶ（ヨハネ3・22-30）

SUNDAY

- 11** 主の洗礼(祝)

† イエスは洗礼を受けると、神の靈が御自分の上に降って来るのを御覧になった
(マタイ3・13-17)

* みことばは「毎日のミサ」から引用しました

* * * * *

待降節黙想会にパウロ会のバー神父様がお越しくださいました

12月6日(土)、待降節黙想会が行われました。指導司祭は、ヨセフ チャン・ゴー・グエン・バー神父様でした。テーマは、『捧げよう～あなたのすべてを』でした。バー神父様は、ナン神父様の神学院時代の同級生で、今年6月7日に司祭叙階されました。6月のわかつあいたいかいも含め、何度も二俣川教会に来てくださっていますが、この12月6日のミサが主司式される初ミサとなり、ミサ後は花束贈呈し感謝とお祝いを申し上げました。





マリア会通信 No. 158

【マリア会総会のお知らせ】

1月 25 日(日)主日のミサ後にマリア会総会を行います。当日は総会後にキーマカレーを(有料)食べながら懇談の場を用意します。是非ご出席くださいますようにお願いいたします。

【ステラマリス帽子を編む会】

「ステラマリス」とはカトリック教会に属する世界的な組織で、世界各国の港で船員さんたちを訪問し、歓迎し福利厚生や心のケアを目的とした奉仕活動「船員司牧」を行う組織です。

私たちの会は、長期にわたる航海で、クリスマスや年越しを家族と過ごすことができない船員さんたちへ、横浜港、川崎港に寄港した際にクリスマスプレゼントとしてお渡しする帽子を編む活動をしています。

11月 21 日(金)には、皆さまのご協力のもと、手編みの帽子、タオル、固体石鹼、歯ブラシ、日本的な小物をラッピングして、406セットをステラマリス本部にお届けすることができました。日頃のご協力に感謝申し上げます。

これからも帽子を編むために毛糸の献品をお願いいたします。執務室脇の籠に入れて下さると幸いです。よろしくお願ひいたします。

マリア会 H. I.

* * * * *

広報委員会より、新年のご挨拶

2026年は表紙で、その月の代表的な聖人を取り上げていく企画しています。これからも、皆様と共同体の歩みに寄り添う紙面を作っていくたいと考えています。一緒に作る仲間も継続的に募集しています。共に、伝える奉仕に取り組みませんか?新年もよろしくお願ひ致します!

* * * * *

【編集後記】

明けましておめでとうございます。いよいよ特別聖年が終わります。そこで昨年、聖年が終わりに近づく中、教皇様が出された「聖年の希望を願う」祈りのメッセージを皆さんと共有したいと思います。「ローマの4大聖堂の聖なる扉は来年1月6日の聖年の閉幕までに全て閉じられるが、『他の扉が今こそ開きますように。平和の家々とオアシスの扉が開かれ、尊厳がもう一度開き、非暴力が教えられて、和解のすべてが学ばれますように』(12/9 無原罪の聖母マリアに)」アーメン!

(K. A. 記)



楽しい雰囲気の中でのラッピング作業